

大文字

京都民医連あすかい病院
広報誌

2021年 11月 **vol.36**

病院理念

1. 患者・利用者の人権を尊重し、安全で質の高い保健・医療・介護活動を行います。
2. 地域住民、地域の医療・福祉機関、諸団体に開かれた活動を行います。
3. 学習につとめ、日々成長する組織であり続けます。



公益社団法人信和会 京都民医連あすかい病院



自慢の病院給食。人気の行事食も、患者さんの嚥下機能に合わせて提供しています。

特集

あすかい病院で検査を受けませんか？

あすかい病院 





あすかい病院で



検査

受けませんか？

病気を早期発見し、健康を保ちましょう！

あすかい病院では、内視鏡検査や生理検査、そして放射線検査など、色々な検査を行っています。
気になる症状がある場合や、体の状態を調べたい場合は、ご相談下さい。
検査を受けて、今後の健康活動に活かしていきましょう！

◀ あすかい病院で受けられる検査に関しては、ホームページもご覧下さい



内視鏡検査

上部消化管内視鏡(胃カメラ)以外にも、下部消化管内視鏡や嚥下内視鏡も受けることができます。



下部消化管内視鏡

細い内視鏡を肛門から挿入し、大腸(結腸・直腸)の観察を行う検査です。大腸の潰瘍・ポリープ・悪性腫瘍などを調べることができます。

嚥下内視鏡

細い内視鏡を鼻から挿入し、喉の奥を観察して食べる(嚥下)能力を調べる検査です。嚥下障害などを調べることができます。

放射線検査

肺や骨の状態を調べるレントゲンや、脳や内臓の状態を調べるCTなどが代表的な検査です。また、胃のバリウム検査や乳房撮影検査なども行っています。

CT

CTは人体の周りを回転しながらエックス線を当て、その情報をコンピュータで処理することで全身の横断面像を得ることができます。
頭・胸・腹部以外にもレントゲンではわかりにくい小さな骨折などを調べるために利用され正確な診断に活用されています。CTを活用した検査では、低線量肺癌健診(少ない放射線量でレントゲンではわかりにくい早期肺癌の検出)などを行っています。

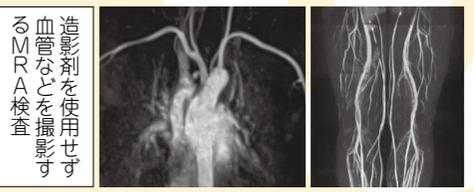
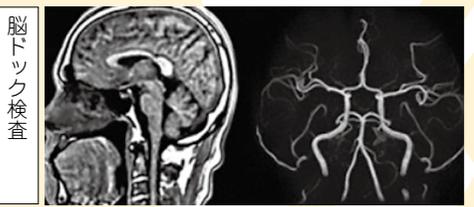
MRI

強力な磁力と電波を利用することで全身の断面像を得ることができます。MRIが得意とするのは、頭部や腹部以外にCT等では判断のつきにくい



お誕生日月などを
目安に年に一度
お受け頂くことを
お勧めします

安心しリラックスして検査を受けていただけるように、丁寧な説明と確実な技術で行っています。



い軟部組織(靭帯や神経など)の観察です。
また、造影剤とよばれるお薬を使用せずに血管の状態を観察できます。この技術を活用した脳ドック(検査時間30・40分程度)などをご用意しています。

脳ドック検査

造影剤を使用せず血管などを撮影するMRA検査

生理検査

心臓の状態を調べる心電図や、内臓の状態を調べる腹部エコーなどが代表的な検査ですが、次のような検査も行っています。



丁寧な説明を行うとともに、迅速かつ正確な検査結果が得られる技術で検査を行っています。女性の検査技師も勤務しております。

ホルター心電図

通常の心電図では、数十秒程度の記録ですが、ホルター心電図では、24時間心電図を記録し続けることで睡眠中、運動中などの心臓の変化を見ることが出来ます。検査は胸部に直接電極シール4枚を貼りつけ、小型の心電図記録機器を専用ホルターに入れ、腰に巻くように取り付けます。完全防水ですので、検査をしながらお風呂にも入れます。

【検査でわかること】

- 胸痛や動悸、息切れ、失神、めまいなどの症状が、心臓が原因で起



▶図の様に取り付けます

◀ペンと比べてもとても小さいです

PWV(脈波伝搬速度)

血圧と脈波(心臓から押し出された血液の波)から血管の詰まりや血管の硬さ(弾力性)を見る検査です。検査では、両腕と両足の血圧を同時に測定します。

血管の硬さ(弾力性)は、いわゆる「血管年齢」で表す事ができ、動脈硬化の程度を反映します。動脈硬化症は年齢と共に進行し、自覚症状が出にくい病気の一つです。心筋梗塞や脳梗塞など重大な病気につながります。

血圧を測るだけで、簡単に検査でき検査時間も5分程度と短時間で済みます。

【検査でわかること】

- 血管年齢が分かります。
- 下肢閉塞性動脈硬化症の診断に有用です。



検査をご希望される場合は、受診されている外来の担当医にご相談下さい。

また、当院の健診センターでも、様々な健診コースをご用意しておりますので、ご利用下さい。

京都民医連あすかい病院
健診センター

電話番号

075-712-9160(直)

受付時間

月～金 8:40～16:30

土曜 8:40-12:20



こっているかどうかを判断します。

● ペースメーカー機能の確認、心筋梗塞後や心臓手術後の状態の確認などにも有用です。

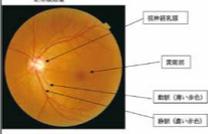
眼底カメラ

(無散瞳眼底カメラ)

専用カメラで眼底の撮影を行い、その記録写真から視神経の出入り口や、網膜及び網膜の血管などの病的变化や異常などを専門の眼科医が判断し、病気の有無を判定します。健診の眼底カメラでは、コンタクトレンズは外してもらいますが、一般的に瞳孔を広げる為の薬は使用しない



撮影風景と撮影された画像



▶PWV測定機器

▶PWV測定風景

検査結果をお渡します

アプニア

(簡易睡眠時無呼吸検査)

睡眠中の呼吸状態を調べるスクリーニング検査です。就寝中の無呼吸は、気道が塞がれて息がでない状態と脳の呼吸中枢からの指令が出ない状態、その2つが合わさって呼

で行います。手軽に体の外から直接観察できる血管検査です。

【検査でわかること】

- 高血圧症や動脈硬化症の進行状況が把握できます。
- 糖尿病性網膜症及び緑内障や白内障の診断に用いられます。

下肢血管エコー

(下肢血管超音波検査)

超音波を使用し、足の付け根から足首辺りまでの動脈及び静脈の状態や血の流れを記録します。血管が細くなっている所や詰まった所などを見る事ができます。この検査は、体の表面から体内を見る検査で痛みもなく検査ができます。

【検査でわかること】

- 動脈エコー：動脈の狭窄や閉塞による閉塞性動脈硬化症の診断に有用です。

- 静脈エコー：エコノミークラス症候群などにみられる深部静脈血栓症の診断に有用です。

- 静脈瘤や静脈炎など足のむくみの精査に有用です。



超音波機器と撮影された画像。赤色が血液の流れを示しています。

吸ができない状態の3つのタイプに分類されます。

実際の検査は、検査機器を自宅に持ち帰り、就寝前に機器をご自分で装着し、翌日機器を返却して頂き、記録されたものを解析します。

【検査でわかること】

- 睡眠時無呼吸症候群の診断に有用です。
- 睡眠時低換気症候群の診断に有用です。



図1

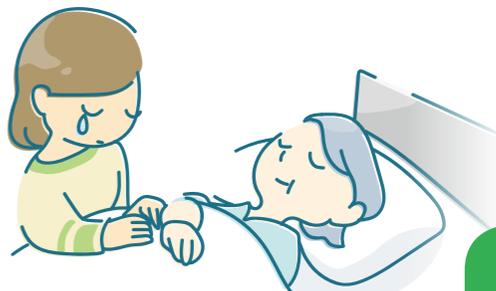
図2

図1の機器を図2の様に取付けて検査を行います

ACP

もしものときに、
自分が望む医療を

アドバンス・ケア・プランニング



状態が悪くなり、十分に考えたり、自分の希望を
伝えられなくなった時のことを考えていますか？

命の危機が迫った状態において、約7割の方は自分の思いを伝えることができないという現実があります。その結果、本当は希望していなかった医療やケアを受けることになったり、また残された家族においては、どうしてあげればいいのかわからず困惑するといったような事態が起こっています。早期まで自分の思いに沿った医療やケアが受けられるようにするためにどのようなようにすればよいのでしょうか？ たとえ状態が悪くなったり、最期の時が近づき、自分で考えて、希望を述べることができなくなっても、自分の思いに沿った医療やケアが受けられるようにするために、健康なうちから、悪くなったときのことを大切な人とともに考えて、希望を伝えておこうという取り組み(ACP アドバンス・ケア・プランニング)が医療介護の現場で徐々に広がってきています。今回は具体的にどのような手順でACPを行っていけば良いのかをお話しいたします。

ステップ 1

考えてみましょう

もし残された時間が限られているとしたら何を大切にしたいですか？ またそれは何故ですか？

ステップ 2

信頼できる人は誰かを考えてみましょう

いざという時にあなたの代わりになって治療やケアについて話し合っただけ欲しい人は誰ですか？

ステップ 3

主治医に質問してみましょう

現在病気療養中の方は、主治医に現在の病状や今後の予想される経過、必要な治療やケアについて聞いてみてください。

ステップ 4

話し合ってみよう

治療が不可能な病気になる、その後、状態が悪化し、十分に考えたり、自分の希望を伝えられなくなった場合に、どのような治療やケアを受けたいか、受けたくないかを信頼できる家族や友人とともに考えてみましょう。あなたの考えは、以下のどれに近いですか？

<input type="checkbox"/>	延命を重視した治療を受けたい
<input type="checkbox"/>	心身に大きな負担のかかるほどの治療や処置までは希望しないが、その上で少しでも長く生きるための治療は受けたい
<input type="checkbox"/>	治療で制限を受けることなく、苦痛を緩和してもらいながら自分らしい快適な生活を優先したい

ステップ 5

伝えましょう

話し合いの内容を、信頼できる家族、友人や普段お世話になっている医療介護従事者に伝えておきましょう。

ステップ 6

繰り返し話し合ってみよう

一度、考えて、信頼できる人に伝えれば終わりではありません。考えや気持ちは変わることもありますので、繰り返しこのステップに則って話し合ってみよう。

ぜひご覧ください！

[右]
緩和ケア医
木原 歩美



[左]
往診センター看護師
西田 沙耶香



当院の緩和ケアチームで、ACP 普及のための動画を作成しています

本日の話は、神戸大学 緩和支援治療科の木澤義之先生が編集された「これからの治療・ケアに関する話し合い-アドバンス・ケア・プランニング-」に詳しく書かれていますのでご参照ください。自分の希望を大切な人にしっかりと伝えておくことにより、皆様が最期まで自分らしく過ごせることを祈っています。

京都市民連あすか病院 往診センター長 医師 上林 孝豊



あなたとあなたのための大切な人を 孤立させないためのアンケート」実施しました

大戸 直樹 あすかい病院 まちづくりセンター

2021年2月から4月末まで、2回目の緊急事態宣言の下「孤立させないためのアンケート」を健康友の会と一緒に実施しました。患者さんはじめ、友の会会員等1160名の方から回答をいただきました。アンケートの結果は、多くの高齢者の「コロナ禍での不安や厳しい生活の実態が浮き彫りとなりました。

回答いただいた方の7割弱767名が70歳以上の高齢者であり、そのうち一人暮らしと回答した方が272名、全回答者のうち4人に1人が高齢者の一人暮らしです。

Q コロナ禍の生活で体調の変化はありますかの問いに対し、「足腰が弱くなった」392名(42%)、「体重増加」190名(21%)、「ストレス増加」191名(21%)、「不眠」97名(10%)、「食欲低下」32名(3%)など体調変化を訴えた方が多くおられました。

からは、経済的にも厳しい実態があらわれており、コロナ禍で人との繋がりが分断されていることが大きな問題として表れています。また、病院にも不安でいけなさと答えている方は1割をこえるなど医療不安も高まっています。

そんな中、**Q コロナ禍で利用できる制度を活用したことがありますかの問いに対し、あると回答した方は79名(8%)**にとどまり、生活や営業の支援に関する各種制度を知らせていく重要性が浮き彫りになりました。

これらのアンケート結果を受けて、①生活の現場で患者・利用者・会員さんの実情をよく知り寄り添う。②事業所や友の会が地域で孤立を生まないように、小学校区・中学校区単位の活動を重視し、顔が見える関係づくりをすすめる。③いのちの相談活動の日常化、定期的な相談会や無料低額診療、ソーシャルワーク機能の強化とア

ウトリーチを強める。④中断患者対策や気になる患者対応などに引き続き取り組む。⑤健康づくりや暮らしに役立つ情報を発信し、フレイル予防に取り組んでいければと考えています。

Q <v>の中心はありますか

コロナ禍困りごと	人数	全体比	回収比
親戚や友人と気軽に会えない	492	38.3%	42.4%
収入が減って生活が厳しい	162	12.6%	14.0%
食費を削っている	183	14.3%	15.8%
失業	34	2.6%	2.9%
出勤日数が減った	28	2.2%	2.4%
年金生活厳しい	28	2.2%	2.4%
支払いが滞っている	53	4.1%	4.6%
買い物に行けない	126	9.8%	10.9%
病院へ行けない(感染不安・支払い)	138	10.7%	11.9%
その他	40	3.1%	3.4%

その他…介護サービスを減らした・面会できない・不安で外出できない・公共交通使えない・政治が酷い等が回答複数あり



ふれあいサロン なごみ

こころのふれあい交流サロンは、こころの病がある人の自立と社会参加を促進する目的で、各行政区に1か所設置されています。障害のある人もない人も、誰もがこころのバリアを取り除き、地域で共に生活し、集い、気軽に交流できる場となるように運営されています。そして、左京区のこころのふれあい交流サロンが『なごみ』です。

なごみでは、ゆっくりと過ごしてもらえるように、小さな喫茶を設置しています。

また、気軽に立ち寄ってもらえるように、着物をリメイクした手作り雑貨(障害者就労支援事業所ゆりかもめで製作した雑貨です)も置いてありますので、見に来て頂くだけでも大歓迎です。
なごみは、2007年10月にオープンし、少しずつ知って頂ける方も

増え、利用して下さる方も増えてきました。「なごみ」といって名前には利用される方にとって、ゆっくりとなんかでもらえる場所になってほしいという思いも込めています。みなさんのなごみの空間となるように、ここを利用される方たちと一緒にそんな空間づくりをしていきたいと思っています。どうぞよろしくお願ひ致します。

地域のチカラ

「いつまでも元気で住み慣れた地域で暮らしたい」そんな思いを、介護・福祉・医療と、地域のネットワークの力でかなえたい！
今回は、ふれあいサロン なごみの紹介です。

問い合わせ先

ふれあいサロンなごみ
(京都市こころの交流ふれあいサロン)
〒606-8212
京都市左京区田中里の内町74
クローネマキ1階
TEL・FAX: 075-723-9449
営業時間: 10時から16時
営業日: 月・火・木・金(祝日はお休み)

あすかい病院 まちづくりセンター (旧組織課)



あすかいプロジェクト ▶
病院主催で行った食糧支援&相談会企画

医療懇談会 ▶
地域の方を対象にした感染予防についての学習会



健康友の会と一緒に健康づくり、まちづくり

あすかい病院の組織課は、今年6月に部署名を「まちづくりセンター」と改称し、「安心して住み続けられるまちづくりに」をコンセプトに、地域に根ざした病院づくりの窓口として活動しています。

また、健康友の会の役員・会員さん、地域の方々と一緒に、医療懇談会などの健康づくりの取り組みも進めています。

地域にはいま、長引くコロナ禍で様々な健康上、生活上の困

難を抱えた方がおられますが、個人の努力だけでは解決できません。私たちは人々を取りまく社会問題を地域の方々へお伝えするとともに、国や自治体へも働きかけています。

ふきのとう

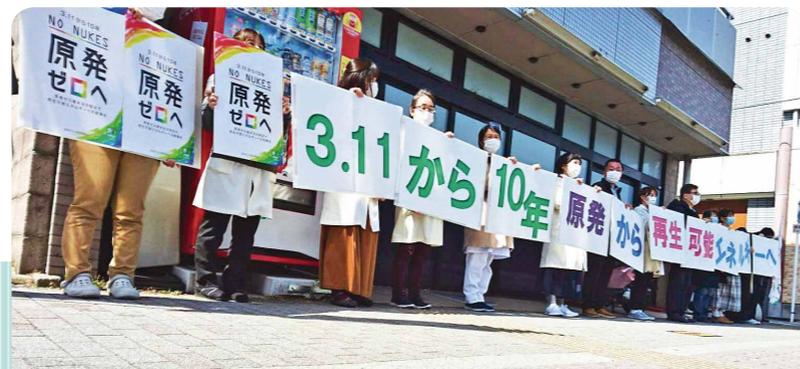
まちづくりセンターは「NPO法人くらしサポートセンターふきのとう」の事務局も担い、介護保険サービスの対象にならない生活支援の有償ボランティア活動を行っています。

また、京都市の介護予防・日常生活支援総合事業にも取り組んでいます。

問い合わせ先

まちづくりセンター

〒606-8226 京都市左京区田中飛鳥井町89番地
京都市民医連あすかい病院内
TEL:075-712-9088 / FAX:075-712-0518
E-mail: tomonokai@shinwakai-min.jp



職場探訪



あすかい病院 臨床工学技士

初めまして。今回は臨床工学技士(りんしょうこうがくぎ)の紹介です。臨床工学技士は医療機器の専門職です。病院で使用する「生命維持管理装置」と呼ばれる機器の操作や保守点検を担当しています。

保守点検から勉強会まで

あすかい病院では臨床工学技士11名が交替で人工呼吸器、人工透析に使われる装置や心電図モニター、輸液ポンプなど様々な医療機器の操作や、いつも万全の状態で使用できるように保守点検を行っています。他には毎日透析で使用するお水の水质検査をしたり、自宅で人工呼吸器を使用されている方の自宅へ点検訪問をしています。また、医療機器

を安全に使用できるようにスタッフの勉強会を開催したりしています。

少ない接点ですが、よろしくお願ひします

医療機関にいられても、直接臨床工学技士と関わる機会が無い方がほとんどだと思いますが、なにやら医療機器を持つて院内をうろろろしているスタッフがいいたら臨床工学技士かもしれません。大きな機器を運んでいると、ドアを開けて頂いたり、エレベーターに乗るのを手伝ってください。さるお見舞いの方や受診に来られた方がけっこういらっしやいます。この場をお借りしまして、お礼を申し上げます。ありがとうございます！

スタッフ紹介

副部長へインタビュー

京都民医連あすかい病院
リハビリテーション部 副部長

田伐 康孝



2021年9月1日から、あすかい病院 リハビリテーション部 副部長となりました。2000年に旧第二中央病院に入職し、旧北病院への出向をはじめとして、訪問看護ステーションたんぼぼ・ひまわり、東山診療所と様々な事業所でお世話になってきました。今はあすかい病院の北館一階の理学療法室にいます。私の名前を見てほとんどの方がなんて読むのだろう、と思われると思いますが「たぎり」と読みます。出身は大阪府寝屋川市、地元では同じ名字が何軒ありましたが、枚方市に引っ越してからは同じ名字に出会ったことはありません。

話が逸れましたが、当リハビリテーション部は急性期から生活期までの患者さんに合わせたリハビリテーションを提供しています。住み慣れた場所でこれからも過ごしていただけるお手伝いができるようスタッフ一同頑張っています。コロナ禍真っ只中ですが、できることを考え、行動できるリハビリテーション部でありたい、と思います。

返信ハガキ・メールからの お声を一部ご紹介します。

- コロナ禍の中、患者と接触される医師、そしてスタッフの皆様ありがとうございます。
- 毎号楽しく読ませていただいています。信和会あすかい病院についてくわしく説明されていて大変参考になります。これからも拝読させていただきます。
- 受付で渡して頂きじっくり読みました。あすかい病院が幅広い取り組みをされていることを改めて知ることができました。
- コロナ感染、早く終息するのを願うばかりです。

✧ ご意見、ご感想
ありがとうございました。

第30回 ふれあいクイズ

大問字

不安な□□□□

次の1～4の空白に入る漢字を並び替えて□□□□に入る4文字熟語を作ってください。

1. 栄□失調
2. 学問の□由
3. 遠隔診□
4. 在□介護



ご意見ご感想募集！

クイズの答えをハガキかEメールにて下記までお送りください。その際、余白に広報誌の感想や日頃感じておられることなどをご記入ください。次号で一部ご紹介させていただきます。メ切は、2022年3月末です。抽選で5名の方に、500円の図書カードを進呈します。どしどし応募ください。

ハガキの場合

〒606-8226 京都府左京区田中飛鳥井町89
京都民医連あすかい病院広報誌「大文字」
ふれあいクイズ係 寺尾宛

Eメールの場合

eggnurse@shinwakai-min.jp
※住所氏名が記載されていないことがありますのでお気をつけ下さい。



第29回ふれあいクイズ 当選者発表

下記5名の方に図書カードを進呈いたしました。おめでとうございます。

(正解: 油断大敵)

当選者:

倉田誠司さん
将積陸さん
安田均さん
梅原京子さん
井谷道美さん

